

10-11月

トヨタ財団 研究助成×先端技術 オンラインカフェミーティング

飲食自由。ランチやカフェを片手にお集まりください。



日程	テーマ / 話題提供者	申込締切
終了	ラグビー選手と創るアスリートのメンタルヘルス支援策 小塩 靖崇（国立精神・神経医療研究センター 地域・司法精神医療研究部 常勤研究員）	10/9 (金)
終了	「小さい農業」に潜む福祉の力を引き出す方法 —AI研究で言う「フレーム問題」かも知れない 綱島 洋之（大阪市立大学都市研究プラザ 特任講師） D18-R-0360：農福連携において労働者の自律性を高めるために一産消提携の経験を援用する試み	10/19 (月)
終了	デジタルアートとセンサーを用いた新しいリハビリツールの可能性 仲村 佳奈子（NPO法人 Ubdobe） D19-ST-0014：(岡 勇樹) デジタルアートやセンサーなどの活用による障害児・健全児が主体的に共生できる社会づくり	10/21 (水)
11/5 (木) 17:00～ 18:00	先端テクノロジーとグローバル社会：ロボット×ケア アイルランドから参加 小舘 尚文（アイルランド国立大学ダブリン校 (UCD) 社会科学・法学部 准教授） D18-ST-0005：介護ロボットの社会実装モデルに関する国際共同研究～人・ロボット共創型医療・介護包括システムの構築に向けて～	10/29 (木)
11/9 (月) 12:00～ 13:00	地域活性化事業の地域内経済循環評価手法の確立と評価ツールの開発 —自治体の新たな文化を創造する— 稲垣 憲治（京都大学大学院地球環境学舎） D18-R-0133：地域活性化事業の地域内経済循環評価手法の確立と評価ツールの開発 ～自治体の新たな文化を創造する～	11/2 (月)
11/17 (火) 17:00～ 18:00	環境政策による強制移住と再定住コミュニティの持続可能性 —モザンビークの事例 オランダから参加 大築 圭（ユトレヒト大学地球科学部 准教授） D17-R-0498：資本主義フロンティア周縁におけるコミュニティ再生—モザンビークにおける強制移住に関する民族誌的事例研究—	11/10 (月)
New! 11/25 (水) 12:00～ 13:00	スポーツ選手の引退後から見る社会保障 —働き方に中立的な仕組みが社会の発展を導くか？ 山下 慎一（福岡大学法学部 准教授） D19-PI-0015：プロスポーツ選手の「2つの引退」から、働き方と社会保障の関係を考える：イノベーション的な社会を支えるために	11/18 (水)

対象者 2017年度以降の助成期間中の助成対象者

代表者以外のプロジェクトメンバーも参加可能。

定員 1回あたり5～6名

希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込 <https://forms.gle/nqLk4NBQHrTzRUL5A>

参加者の方には、追ってZoomアドレス等をご連絡いたします。



 公益財団法人トヨタ財団

研究助成プログラム

特定課題「先端技術と共創する新たな人間社会」

MAIL kenj@toyotafound.or.jp